

アイコンタクトをありがとう (thank 39 you)

令和3年度末を迎えるに当たり、3月26日(金)の離任式で、先生方が残してくれたみなさんへのエールを紹介いたします。なお、ホームページにも様子が掲載されています。併せて「にかフォトメモリ」でも御覧いただけます。

◎岩川克敏 教頭(明德館高校副校長として転出)

形のある「大切なもの」はいずれなくなる。生徒のみなさんには、目に見えない大切なもの、どんな時でも自分の心の中にある大切な「ことば」を探し、見つけ、創りだしてほしい。

◎土橋謙一 事務長(本荘高校事務長として転出)

校舎を歩いていると、生徒からあいさつしてくれた。とても嬉しかった。その日は、特に気分良く仕事できた。コロナ禍で、鳥海山に登れなかったことが心残りである(令和3年度は是非鳥海登山をやしてほしい)。

◎月本晴子 教諭(矢島高校教諭として転出)

人生には「まさか」がつきもの。仁高で学んだことは、「知れば知るほど知らなかった自分を知る」ということ。何事も形になるには、時間がかかるもの。あせらず頑張ってください！

◎渡辺吉幸 教諭(由利高校教諭として転出)

仁高校歌には、至る所に古文が使われている。古文の表現には、歴史と伝統、威厳を感じる。古文を学ぶということは、歴史と伝統、威厳を学び、未来に活かすことである。

◎太田弘史 教諭(由利工業高校教諭として転出)

仁高は、「人間をものすごく成長させてくれる」学校。「学校の進む方向がはっきりしている」学校。人間が成長するためには「自分の考え方」をもつこと。「情けは人のためならず」の精神で自分を磨いてほしい。

◎佐々木勝則 教諭(由利高校教諭として転出)

自分の将来、進路について考えよ。入学時から将来への戦いが始まっている。在校生は今から、残りの仁高生活で自分の未来をつかめ。そのためには、日々の努力を一つひとつ積み重ねることが大切だ。

◎菅原英明 教諭(秋田県総合教育センター指導主事として転出)

「難しいことは無理」。でも、ちょっと考え方を考えてみよう。「新しいことだから知らないだけ」かも。まずは、「挑戦」してみよう。できたら「自信」になるよ。

◎松井智彦 教諭(羽後高校教諭として転出)

幸せな人生を送るために、最低限必要なことは3つ。一つ目は、教養を身につけること。二つ目に、礼儀をわきまえること。最後に、コミュニケーション能力を養うこと。

◎渡辺拓人 教諭(西目高校教諭として転出)

「感情」を大切にしてほしい。「感情」は人を動かす大きなエネルギー。マイナスの感情を封じ込め、プラスの感情を力に変えて、生きて欲しい。仁高生の成長を祈る。

※ 本校のために御尽力いただき、誠にありがとうございました。新任地でも健康に留意して、「仁高旋風」を巻き起こしてください。

★	アイコンタクト (i c o n t a c t 2)	を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★	メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。	
★	意識力 = 意思・意志 (瞬間) + 気力 (持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。	
★	GTH は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。	
★	「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなに挑戦しますか？	
★	自分が誰かの役に立つためには、感謝の心で自己肯定感を持つことが大切です！	
★	NPT は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。NPTを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、Trial&Errorで進めましょう！	